

< 日本の精神医療改革を考えるシリーズ① >

# 講演会

「精神科病院の改革を考える」

講師 智田文徳先生

(岩手県盛岡市・未来の風せいわ病院理事長)

< 日精協雑誌に下記論文 >

①急性期型病院への転換を目指して歩んだ20年間を振り返って(2016年)

②地域移行機能強化病棟を将来の病院づくりにどう活かすか?(2017年)

智田先生は、22年前に先代から病院(旧岩手晴和病院)を引き継ぎました。12年前、敬愛する先生から「精神病院は施設ではない。病院なのだ」と教えて頂き、それ以降、施設から病院に生まれ変わるためにはどうすればよいかを一生懸命に考えてきた。(日精協雑誌2016年 VoINo3 より抜粋)

その後どう取り組んできたか、22年間の軌跡をお聞きしたいと思います

日時 8月31日(金) 18時~21時(受け付け開始17時30分~)

場所 東京都生協連会館3F・会議室

中野駅南口から徒歩10分(中野区中央5-41-13)

参加費 1,000円 定員 100名

< 講演会開催の趣旨 >

わが国の精神医療は、地域精神医療が定着している海外から大きく立ち遅れています。何時になったら、日本で精神医療改革が起きるのか。見通しは立っていません。しかし、隔離・収容の精神医療政策は、行き詰まり深刻な問題が起きています。このような中、現状打開をめざした取り組みが始まっています。どんな取り組みが行われているのか、経験を学び、皆で、精神医療改革の方向を考える機会が必要になっています。そのため3ヶ月に1回程度、各地での取り組みを聞き話し合う講演会を考えています。今回は、精神科病院の改革の取り組みです。智田先生の講演を受け、会場の参加者と質疑応答を行い、精神科病院の改革について議論を深めたいと考えています。

主催 五叉路塾(代表者 代々木病院医師・中澤正夫)

問い合わせ先 氏家憲章(社会福祉法人うるおいの里理事長)(080-2251-878)

【裏面に申込用紙があります】

申し込み用紙

Fax 03(5385)2299 きょうされん

氏名	
所属	
連絡先	